

同じ色を有する下部寒武利亞系の赤色岩殊に赤紫色頁岩に對しては其當時の海が滿俺に富んでゐた爲ではないかといふ摘録者の持論である。世界到る處今では採掘されてゐないが下部寒武利亞系の赤色頁岩中には滿俺鐵の小鐵床がある。要するに本篇は滿洲に於ける著しい層序學、古生物學研究の發表であつて、吾人は著者の精進が深く且つ廣く亘つて東亞の古期古生界の眞の闡明を大成せられるのを望んで止まない次第である。(N)

## 新著紹介

### ○地球の内部に關する今日の知識

松山湛範著

四六版四〇頁 昭和三年三月 東京古今書院發行

定價三十錢

古今書院地理學パンフレットのひとつとして瀟洒な紙表紙で公にされた本書は著者が大正十五年に京都の中外日報といふ宗教新聞の爲めに執筆された理智に富んだ、地球内部の状態の總攬である。章を分つこと六、科學的研究の價值に於て、科學的假定は一の信念であつて力弱いものでないことを説かれ、尋で地球内部の温度に關する事實を擧げて内部が大體どの位の温度を有つてゐるかな悟らしめて居る。次は地球内部の物質が如何に分布されて居るかを示し、地球の堅さに遡入つて其の固いことを説明し、地殻の現狀として最外部を論

じて地殻均衡の美しい機制を述べ、以て地殻の「現狀は大體に於て地殻均衡説の教ふる様に釣合の狀態になつて居るといふ事は實に意味の深い所でありまして、地殻が餘り頑強に抵抗を續けずして、僅かでも釣合の取れぬ狀態が起つて來ると間もなく之を調節して、均衡狀態に直して置くやうになつて居るのであります」と著者の均衡説に對するムードを表現して居る。最後の章は地球の冷却するかと題してウラニウムのある以上吾我は地球の冷却を憂ふるに足らずして地球の温度も無限に續くと結論してある。地殻褶曲について命題は擧げあるが其の冷却以外の原因については説いてないのは多分地質學の方に譲られたのであらう。多分本篇は著者會心の著述であらうと思はれるもので吾人は本書を手にし條理整然たる道途を尋かれて二三十分間の間に地球物理學の學園を逍遙することが出来るのである。誤植も少くて八つか九つに過ぎないのは愉快である。(N)

### ○東部吉林省經濟事情

東亞經濟調査局發行

昭和三年二月一日發行

南滿洲鐵道株式會社

本書は南滿鐵道調査課の經濟資料としての第十四卷第二號として公刊されたもので、標題の如く吉林省東部、開島、琿春、及敦化、額穆、吉林、寧安、安圖の各縣の地誌をしるし産業を詳述し、移住朝鮮人の狀況を明にしたものである。結論として日本海の對岸に在するこの地方が、吉會鐵道貫道の嚆を想見して、この地域に散在する朝鮮人問題解決の必要を

のべてある。本地方の開発は常に朝鮮移民の解決といふ一問題でなくて、ひいて我國の食糧問題に關係する大問題であることを考へる時、かゝる良著述の出た事を歓迎しないで居られぬ。本文六二一頁、寫眞十二、附圖一、定價三圓、神田神保町三、東京堂から賣出してゐる。(F)

## 雜 報

○東京高師地理學會會報 東京高等師範學校地理學關係の教官、卒業生並に在學生を以て組織されてゐる地理學會は大正十四年以來毎年一回會報を發行して會員に配布して居る。其第四冊は本年三月發行された。其内容は會報、教官の地理學に關する所感、會員の學的消息、地理學關係論文目録等である。消息欄を見ると如何に高師卒業諸氏が地理學に精進されてゐるかが窺はれ、我國で地理研究が如何なる方向を指して居るか々明にされる。併し本誌の最大特長は論文目録にあつてこの第四冊には昭和二年論文目録の外に第一冊以來掲載された以前のものが出だした。即ち大正十年より大正十二年に至る目録がある。此等目録は日本及外國の主要な地理關係雜誌に載せられた論文を地理學總論、自然地理學、人文地理學、地誌(日本は地方別にしてある)、補助學及雜の項に分つて著者、題目、發行月、巻及號數を擧げてある、一般の地理學研究者に取つては甚しく便利なものである。猶第四冊

には故大關教授著述目録がある。本誌は希望者には同會で實費で頒つことにされたといふから文獻を重んずる篤學者には好都合である。

## ○地球學團岡山支部近況

○第二十三回例會 九月十一日午前九時より縣立商業學校に開會左の講演ありたり。

1. 樺太旅行談 關中 水野千里君

2. 北海道人文地理概説 縣商 浦上宗衛君

來會者三十二名、別室に寫眞、エハガキ、參考地圖等數多陳列せられ皆熱心に研究せり。

○第二十四回例會 十月三十日六高八木教授の前回の續きなる

日本地史の梗概 六高、八木教授

を聽講す實物標本等につき詳細説明せられたり。

○第二十五回例會 十一月十三日午前九時より縣立商業に於て開會次の講演ありたり。

1. 冬季樺太近海航海の話

元郵船上川丸船長 岸本洗太郎君

2. 文檢問題の考察 女師 北田 茂君

3. 本年度文檢問題研究 各 會 員

本日の來會者は主として本年度受験者、受験準備中の者多く二十六名なりき。

○第二十六回例會 十二月四日午前九時より縣立商業に開會